

平成 20 年 9 月 26 日

連 絡 先 農 水 商 工 部 水 産 資 源 室 室 長 紀 平 正 人 水 産 振 興 グ ル ー プ 担 当 者 林 電 話 059-224-2584

資料提供について

1 報告事項

コイヘルペスウイルス病でへい死したニシキゴイの発見（四日市市 阿瀬知（あせち）川）
について

2 要 旨

四日市市内を流れる阿瀬知川で発見されたニシキゴイへい死魚について、県水産研究所でコイヘルペスウイルス(KHV)の検査を行ったところ、9月24日に一次陽性反応を確認したため、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に確定診断を依頼した結果、9月26日にKHV病によるへい死と診断されました。

3 報告内容

- (1) 9月22日に四日市市から県に、同市が管理する阿瀬知川で18日頃からコイがへい死する旨の連絡がありました。（5 - 6尾程度。このへい死魚は21日に市が回収処分。）
- (2) 同日、四日市市農水振興課、同環境保全課及び、県四日市農林商工環境事務所環境室が現場確認をしたところ、更に、死んだマゴイ1尾、ニシキゴイ1尾及び、ドイツゴイ3尾を確認し、回収しました。
- (3) 9月24日に県水産研究所にて、このうち検査検体として状態の良い1尾のニシキゴイについて、KHV病の一次検査を実施した結果、同日陽性反応を確認しました。
- (4) 陽性反応のあった検体について、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（南伊勢町）に確定診断を依頼していた結果が9月26日に判明し、KHV病と診断されました。
- (5) なお、県内でのKHV病発生事例は平成15年11月に四日市市で確認されて以来、今回が22例目で、本年度になってからは4例目となります。また、全国では平成15年10月に茨城県の霞ヶ浦で最初に確認されて以来、47都道府県で確認されています。

4 今後の対応方針

KHV病のまん延防止を図るため、四日市市によるへい死魚の取り上げと焼却処分、並びに河川からのコイの持ち出し及び放流の制限（市による地元自治会への説明、看板等による掲示並びに県が管理するホームページ等による周知）を行います。

5 参考

- (1) 感染経路については、不明です。
- (2) 放流時期や放流尾数等は不明ですが、現在体長20～50cm程度のマゴイ、ニシキゴイ及びドイツゴイが生息しています。
- (3) 本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイを人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。
- (4) KHV病関連ホームページ
三重県農水商工部水産資源室ホームページ
<http://www.pref.mie.jp/SUKYOKYU/gyousei/koiherupesu/newpag1.htm>